

PC建協第14回定時総会を開催

令和8年5月21日に東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で第14回定時総会を開催しました。同日開催の理事会では、堤忠彦会長（㈱富士ビー・エス代表取締役社長）が再任されたほか、櫻林美津雄副会長（ピーエス・コンストラクション）代表取締役社長執行役員、照井満副



▲ 左：金子国土交通大臣、中央：堤PC建協会長、右：見坂参議院議員
(提供：橋梁通信社)

会長（オリエンタル白石）代表取締役社長、森田康夫副会長兼専務理事、太田和宏理事（㈱IHインフラスクエア取締役）、下村匠理事（長岡技術科学大学教授）が新たに選任され新体制となりました。

また、総会後には懇親会が開催され、来賓として金子恭之国土交通大臣、加藤竜祥国土交通大臣政務官、建設産業職域代表の見坂茂範参議院議員をお迎えし、約400人が参加する盛会となりました。

発注者との意見交換会始まる

令和8年6月12日に開催された国土交通省道路局との意見交換会を皮切りに、全国の発注者（各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、高速道路会社（NEXCO各社）、（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構）との意見交換会が順次始まり、8月末までに中国地方整備局、北陸地方整備局、北海道開発局との意見交換会が終了しました。

《PC建協からの提案（国土交通省）》

1. 年度工事量の安定的な確保
 - ① 年度工事量の安定的・持続的な確保
2. PC新設の新規プロジェクトの創生
 - ① 柔軟な完全週休二日の推進
 - ② 総労働時間の削減
 - ③ 暑中における作業条件の改善
 - ④ 技能労働者の処遇改善
3. 生産性向上の推進
 - ① プレキャスト化の推進
 - ② ICT活用の推進（BIM/CIM活用）
 - ③ ICT活用の促進（新技術促進）
4. PC橋の長期保全の推進
 - ① 詳細調査・施工計画付工事の推進
5. 優れた機能性と構造デザイン性を有するプレキャストPC建築の推進
 - ① 官庁営繕・土木営繕の計画にプレキャストPC造を推進
 - ② プレキャストPC造の採用を加速させる選定フローの採用
 - ③ プレストレストコンクリート建築技術講習会のご紹介

褒賞・学会賞 受賞

PC建協の理事・顧問が、永年にわたり業界の発展に寄与した功績を内閣府や学会から高く評価され、褒賞や学会賞などの栄誉を受けました。

● 令和8年春の褒章（黄綬褒章）

川田琢哉氏

川田建設（株） 代表取締役社長

PC建協理事である川田琢哉氏（川田建設（株）代表取締役社長）が、事業の発展ならびに業界団体の発展に寄与した功績により、令和8年春の褒章（黄綬褒章）を受章されました。

川田氏は、平成24年から現在に至るまでPC建協理事を務め、令和6年からの2年間は副会長を務めていただきました。



令和8年春の褒章（黄綬褒章）
川田 琢哉氏

●令和7年度土木学会賞 業績部門
森拓也氏
ピーエス・コンストラクション(株)
取締役会長

PC橋の設計・施工から研究開発
学協会活動、国際交流まで幅広く貢
献し、PC橋技術の発展に寄与した
功績により、本賞が授与されました。
森氏は、令和2年から2年間は副会
長、令和4年からの2年間は会長、令
和6年からの2年間は再び副会長を
歴任し、現在は顧問を務めていた
でいます。



令和7年度土木学会賞 業績部門
森 拓也氏

第33回PC建築技術講習会を 開催

「第33回PC建築技術講習会」を、
令和8年7月10日に東京会場(港区・
建築会館)での対面形式とオンライ
ン形式の併用開催及びオンデマンド
配信で開催しました。参加者は、事前

登録制で約1100人の登録があり
ました。

各講習の演題(建築物)と講師は次
のとおりです。

- (1)大泉町庁舎建設工事
『PCa構造にS造を組み合わせる
ことで、分断されたファサードを実
現』
㈱桂設計 高井陽太、金森徳二郎
- (2)長岡造形大学第4アトリエ棟
『構造と意匠をつなぐプレグラウ
トPCによる曲面屋根』
㈱日本設計 河野建介、中村伸



▲PC建築技術講習会の様子

(3)大阪大学・日本財団感染症セン
ター
『フレキシビリティを追求したフ
ラットプレート架構』

大成建設(株) 阪井由尚、須藤峻介
(4)高槻城公園芸術文化劇場
『木×コンクリート×自然素材を
統合するPCa計画』
㈱日建設計 差尾孝裕、下西智也

第16回PC建協業務報告会を 開催

令和8年7月16日に東京都千代田
区のホテルグランドアーク半蔵門で
「第16回PC建協業務報告会」を開催
しました。今回は約120人の参加
があり、報告会では各委員会からの
発表及び各支部の活動報告をパネル
展示しました。

当日の発表は次のとおりです。

- (1)道路橋示方書改定にともなうPC
橋の対応について
- (2)塩害とASRの複合劣化が疑われ
る既設PC橋の現地調査
- (3)高流動性コンクリートの活用に関
する共同研究委員会報告
- (4)「PC構造物の維持保全―PC橋
の長期保全に向けて―2025年
版」の発行について



▲PC建協業務報告会の様子

- (5)「PCグラウト施工マニュアル建
築編2026」の発行について
- (6)「プレストレストコンクリート建
築マニュアル―場所打ちPC構造
編―2026年3月」の発行につ
いて

その後、近藤弘嗣国土交通省道路
局国道・技術課道路技術調整官より、
「道路橋示方書の改定について」と題
した特別講演をいただきました。

PC技術専門家を派遣

PC建協では多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家派遣事業を展開しています。

(関東支部)

令和8年6月9日に長野工業高等専門学校工学科都市デザイン系の4年生33人を対象に「コンクリート工学II『プレストレストコンクリート橋について』」と題した授業を行いました。

当日はPC橋の基本概念、構造特性、設計の基本や実際の施工プロセスといった概要を説明し、PC鋼材の緊張実演を行いました。

(九州支部)

令和8年6月17日と7月8日の2日間、九州大学大学院工学研究院社会基盤部門の修士1年生を対象に「プレストレスト・コンクリートについて」と題した授業を行いました。

1日目は9人が受講し、PCの概要、PC橋の分類と設計を説明しました。またキャンパス内にあるバイプレストレスリング橋の見学会と緊張実演を行いました。2日目は10人が受講し、PC構造物の紹介、PC橋の施工や床版取替といったPC業界

での仕事内容や最近の話題を説明しました。

その他、令和8年4月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

開催日	支部名	学校名	開催日	支部名	学校名
4月16日	関東	芝浦工業大学工学部	7月6日、13日	九州	佐賀大学理工学部
5月19日	中国	広島工業大学工学部	7月8日、16日	関東	信州大学工学部
5月28日	中国	岡山大学工学部	7月10日	関東	東京電機大学理工学部
6月4日	関西	神戸大学工学部	7月13日	九州	琉球大学工学部
6月16日	関東	東京都市大学 建築都市デザイン学部	7月14日	北陸	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学課程
6月25日、 7月10日、17日	関西	明石工業高等専門学校	7月14日	九州	大分工業高等専門学校
6月30日	北陸	金沢大学地球社会基盤学類	7月15日	関東	国士舘大学理工学部
7月1日	関東	東海大学建築都市学部	7月17日	関東	足利大学工学部
7月1日、8日	関東	東洋大学理工学部	7月22日	関東	横須賀工業高校
7月2日	九州	長崎大学工学部	7月23日	九州	宮崎大学工学教育研究部
7月3日	関東	茨城大学工学部	7月24日	九州	九州工業大学大学院 工学研究室
7月4日	関東	足利大学工学部			

現場見学会を開催

現場見学会が各地で開催されました。

(北海道支部)

令和8年6月25日に北海道蘭越町の北海道新幹線の昆布橋りょうの工事現場で北海道科学大学工学部都市環境学科2年生と教員の計50人を対象に現場見学会を実施しました。本橋は橋長40・0mのポストテンション方式PC単純下路桁橋で架設工法は固定式支保工架設（日本高压コンクリート（株））です。

(中部支部)

令和8年7月1日に岐阜県海津市の東海環状庭田高架橋PC上部工事の工事現場で名古屋大学工学部環境土木・建築学科2年生の33人を対象に現場見学会を実施しました。本橋は橋長515mのPC5径間連続箱桁橋+プレテンション方式単純T桁橋で架設工法は片持架設工法（川田・日本ピーエスJV）です。

その他

- ・7月30日 日高自動車道新ひだか町真沼津川橋 苫小牧市民（小学生含む）18人
- ・7月27日 岐阜県海津市東海環状

庭田高架橋PC上部工事現場
名古屋工業大学工学部3年生 53人

・5月28日 阪神高速道路（株）震災資料保管庫 PC建協会員企業の若手職員など 22人

各地でPC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

(中国支部)

令和8年7月1日に岡山市北区の岡山県建設技術センターでの「令和8年度建設業従事者研修 橋梁保全II（上級）（主催：（公財）岡山県建設技術センター）」の中で、県や市町村の職員など48人を対象に「コンクリート橋の主な損傷と対策事例」と題した講義を行いました。

この研修は10月30日までPC橋の施工、耐久性設計、ライフサイクルコストなどコンクリート技術に関する最近の話題などを題材に全4回行います。

その他、令和8年4月以降に実施されたPC技術講習会は次のとおりです。

令和8年度EE東北'26に出展

(東北支部)

建設事業の新材料や新工法などの展示会「EE東北'26」が令和8年6月3日と4日に仙台市のみやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」で開催されました。PC建協東北支部は「プレキャストPC技術による生産性・安全性の向上」と題して出展しました。

開催日	支部名	講習会	主催・共催	人数
4月27日	東北	令和8年度第1回橋梁アセットマネジメント担当者会議「高耐久性PC桁とPC橋の長寿命化」	青森県県土整備道路課橋梁・アセット推進グループ	39人
6月11日	九州	令和8年度プレストレスト・コンクリート(PC橋)技術講習会	一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会	35人
7月2日、3日	九州	令和8年度橋梁研修(スキルアップ研修)	宮崎県建設技術センター	7/2: 74人 7/3: 75人
7月29日	東北	令和8年度建設技術基礎研修(橋梁編)「PC橋の概要、PC橋の計画、PC橋の積算について」	(公財)宮崎県建設技術推進機構	91人 (オンライン)

第35回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム開催のお知らせ

(公社)プレストレストコンクリート工学会は「第35回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」を令和8年10月22日と23日に大分県別府市の別府国際コンベンションセンター(B-Con Plaza)で開催します。

詳細は(公社)プレストレストコンクリート工学会ホームページをご覧ください。
<https://www.jpcci.or.jp/>

全国から開通情報

(北陸支部)

国道416号白方布施田バイパス、全線開通

令和8年4月26日に福井県福井市の国道416号白方布施田バイパスの白方町〜波寄町間(延長3・7km)が完成しました。これにより全線開通(総延長5・2km)となりました。当日は川西コミュニティセンターでの式典後、砂子坂町でテープカット、くす玉開披、通り初めが行われました。

(関西支部)

国道175号西脇北バイパス、全線開通

令和8年6月13日に兵庫県西脇市の国道175号「西脇北バイパス」の下戸田〜寺内間(延長3・1km)が開通しました。これにより全線開通(総延長5・2km)となりました。当日は寺内ランプ高架部でテープカットなどが行われ、この開通を祝いました。

その他

・福岡県都市計画道路粕谷久山線(福岡市東区〜粕屋町戸原)



▲ 白方布施田バイパス開通式の模様

編集委員会

森田 康夫(編集委員長)、石井 一生(副委員長)、吉山 誠之(副委員長)、阿部 悟、市場 一好、黒木 信秀、鈴木 裕二、松井 敏二、堀 重伸、大塚 俊介、牧 哲史

編集部会

荒畑 智志(部会長)、武藤 浩美(副部会長)、木村 良輔(副部会長)、瀬戸 裕一郎(副部会長)、園田 健児、河野 雅弘、喜多 俊介、三輪 祥大、浅野 真人、畑中 俊樹、中田 清博、直井 秀市、川端 勇、武内 涼太郎、渡邊 絵美、吉野 正道

編集後記

取材の前週まで続いた台風、そして取材後の大雨を不思議なほど避けるように、現地では青空に恵まれました。今回のルポでは、宮城県気仙沼市と南三陸町、石巻市、名取市を訪ね、「失われたもの」と「守りながら生きていくこれから」を見つめ直しました。震災遺構や新たな街並み、地域の心の拠りどころを巡る中で感じたのは、復興とは単なる再建ではなく、記憶を受け継ぎながら未来を築いていく営みだということ。被災地の今に触れる旅となりました。

なかでも印象に残ったのが、ゆりあげ港朝市協同組合代表理事の櫻井氏の言葉です。震災直後を振り返り、「やらなければならないことが多すぎて、苦しいと感じている暇はなかった」と語り、さらに「もらったら返せ、タダでもらうな」と続けました。その言葉には、支援への感謝と同時に、自ら立ち上がり地域を再生していく強い覚悟を感じました。その裏にどれほどの葛藤や苦難があったのか私には計り知れません。しかし、その力強い言葉こそが、15年を経た被災地の歩みを支えてきた原動力の一つなのだと感じました。

また「PCのニューフェイスたち」では令和7年度に誕生した15作品を紹介しております。本号を通じてPC技術、PC構造物の素晴らしさを感じて頂けますと幸いです。(園田)